

臓器	進捗状況（2020年11月現在）
口腔癌	2019年3月に第2版が出版済。
頭頸部癌	2019年12月に第6版補訂版を出版済。
食道癌	2022年に第12版を出版する予定で改訂作業を開始。
胃癌	2017年に胃癌取扱い規約第15版を出版済、その後2019年に消化器のWHO分類第5版が出版された。
大腸癌	2018年7月に第9版を出版済。
肺癌	2017年1月に第8版を出版済。TNM9版の際に次の改訂を予定。
中皮腫瘍	中皮腫瘍取扱い規約、初版は2018年に出版済。次の改訂は、2023年ごろを予定。
乳癌	前回の乳癌取扱い規約18版（2018年5月）改訂済。次の具体的な改訂時期は未定。
甲状腺癌	甲状腺癌取扱い規約8版を2019年12月に改訂出版済。次の改訂時期は未定。
膵臓癌	2020年9月に第7版の増補版を出版済。
肝細胞癌	特段の進捗、変化等なし。
胆道癌	2021年早々に第7版を出版予定。 消化器腫瘍WHO分類第5版に準拠し、良性上皮性腫瘍および関連病変が加えられたこと、また、UICCに準拠し、遠位胆管癌の深達度を、浸潤距離で分類するなどの変更点がある。
前立腺癌	現在、改訂作業中（病理のパートは委員による最終校閲中）。
腎癌	現行は第4版（2011年4月）。現在、第5版のパブリックコメントが終了し、最終編集作業中。
精巣	規約は動きなし。ガイドライン作成がもうじきスタートする。
尿路	現行は第1版（2011年4月）。改訂に向けての原稿はほぼ出そろっており、今月早々に最終原案のためのZOOMによる全体会議が予定されている。

副腎	2020年12月の泌尿器科学会総会前後までに項目、基本案を泌尿器科学会で作成
子宮頸癌	子宮頸がん臨床編は、出版準備がほぼ終了段階。
子宮体癌	
卵巣腫瘍・卵管癌・ 腹膜癌	
骨腫瘍	骨腫瘍取り扱い規約、軟部腫瘍取り扱い規約共に改訂の予定は今のところ無し。
軟部腫瘍	
脳腫瘍	現行は第4版（2018年3月）。次の改訂に関しては特に動き無し。
小児腫瘍	特に改訂の動きはありません。細かい変更点などは、小児腫瘍症例検討会、希少がん病理診断向上事業や日本小児がんグループの会などで補足説明するなどの活動を続けています。